

## 目標および実績 -Targets and Results-

第8期環境行動計画に沿ってテーマを設定し、目標達成に向けて推進しています。  
2017年度は、重点テーマとして掲げたすべての設定テーマで目標を達成することができました。

第8期 環境行動計画 (2016～2018年度)		目標および実績 (2017年度)		
重点 テーマ	目的	2017年度 目標	2017年度 実績	評価
社会 への 貢献	ICTの提供により、社会の持続可能な発展に貢献する。 環境貢献ソリューションを2016年度から2018年度末までに14件以上開発し、「社会の持続可能な開発目標 (SDGs)」に貢献する。	2017年度に環境貢献ソリューションを5件以上開発する。	環境貢献ソリューション 認定5件	○
	製品のライフサイクルにおける環境価値の向上。 (エネルギー効率) 2016年度から2018年度に開発する新製品の50%以上をエネルギー効率トップレベルにする。	2017年度に開発する新製品の45%以上をエネルギー効率トップレベルにする。	エネルギー効率 トップレベル 新製品：57%	○
	製品のライフサイクルにおける環境価値の向上。 (資源効率) 2016年度から2018年度に開発する新製品の資源効率を15%以上向上する。	2017年度に開発する新製品の資源効率を10%以上向上する。	新製品の資源効率向上 平均：89%	○
自らの 事業 活動	事業拠点の温室効果ガス排出量を削減する。 事業所における温室効果ガス排出量を2018年度末までに2013年度実績以下に抑制する。	2017年度の事業所における温室効果ガス排出量を2013年度比1.1%以上削減する。 【対象拠点：本社・東京工場／新潟工場】	5,127トン-CO <sub>2</sub> (▼4.5%) ※2013年度比 (5,368トン-CO <sub>2</sub> )	○
	廃棄物発生量を2012～2014年度の平均以下に抑制する。 廃棄物発生量を2018年度末まで2012年度～2014年度の平均値 (293トン) 以下に抑制する。	2017年度の廃棄物発生量を249トン以下に抑制する。 【対象拠点：本社・東京工場／新潟工場】	206.4トン 本社：41.0トン (▼24%) 新潟：165.4トン (▼15%)	○
独自設定 テーマ	気候変動対策や生物多様性保全に係る良き企業市民としての活動 社員が社会とともに取り組む、社会貢献活動を支援する。	幅広い社会貢献活動を推進する。 (2016年度目標同等以上：45件以上)	77件実施	○

【評価】 ○：達成 ×：未達成

### 温室効果ガス (GHG) 排出量削減の継続推進

当社グループでは、全社省エネ運動の展開や省エネ効果にすぐれた設備への更新など、社員と会社が積極的に省エネ施策に取り組んでいます。

また、各拠点で事業形態に即した個別の節電目標を立て、節電を主体としたGHG排出量削減の工夫を行い、4.5%削減し、目標達成となりました。

目標：2013年度比1.1% (▼ 60トン-CO<sub>2</sub>) 以上削減

実績：2013年度比4.5% (▼241トン-CO<sub>2</sub>)

### 環境コンプライアンスの強化

環境測定 (水質、騒音など) を毎年実施しており、法基準値よりも厳しい自主基準値を設定して、周囲への環境影響に変化がないか継続してモニタリングを行っています。

産業廃棄物については、社内施設や廃棄物業者の監査なども実施して適切な運用が管理されていることを定期的に確認するなど、法令に沿った対応を実施しています。

また、省エネ法や電機・電子業界「低炭素社会実行計画」にも準拠できるよう、エネルギー消費の削減を計画的に取り組み、行政への報告も実施しています。

### 本来業務にかかわる目標の設定

富士通グループと同期した第8期環境行動計画の重点テーマに沿って、本業の目標を設定して活動しています。

環境貢献ソリューションの開発、エネルギー効率や省資源にすぐれた新製品の開発、各事業所での省エネ活動や、廃棄物排出量の削減など、本業にかかわるテーマを、環境活動の意義と効果を一人ひとりが認識し、全社で取り組んでいます。